

第2期訓子府町まち・ひと・しごと創生総合戦略

訓子府町人口ビジョン

第2期訓子府町まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間

令和2(2020年)年度～令和6(2024年)年度

人口の推移と将来展望

人口の推移

●総人口の推移

総人口は昭和25年には1万人を超え、その後10年は1万人を維持していましたが、高度経済成長期の昭和30年からは減少が進み、近年は毎年数十人の減少が続いています。

●出生数と死亡数の推移

平成12年以降は出生数が死亡者数を上回る自然減の状態です。平成31年には出生数が過去最低の21人となっています。

●転入数と転出数の推移

転出者が転入者を上回る社会減が続く、毎年数十人の社会減となっています。

人口の将来見通し

現在の傾向が続けば、人口は更に減少する見通し

2020年 2040年
4,711人 → 3,127人

国立社会保障・人口問題研究所による推計方法に準拠した推計人口

訓子府町創生の取り組み

人口の将来展望

●中期的目标(2040年)
3,547人(420人の人口減少抑制)

基本理念

将来にわたり魅力的で持続可能なまち

基本目標・数値目標

力強い産業としごとを創る

数値目標R6年

●農業生産額:140億円
●農業戸数:256戸
●起業・創業件数:
10件(5年累計)

安心して子どもを産み、育てることができる環境を創る

数値目標R6年

●期間合計特殊出生率:1.82

健康で安心して住み続けることができる環境とひとの流れを創る

数値目標R6年

●人口の社会減の抑制:20人
●健康寿命(平均寿命)
:平均寿命に近づける

基本的方向

持続的で多様な産業生産と魅力ある農村環境の確立を目指す施策の推進

中小企業・小規模企業振興基本計画及び起業・創業を促進するための振興施策の推進

労働力の確保と雇用の促進、健康で快適な労働環境づくり

子どもを産み育てる希望の実現、子育て家庭を包括・継続的に支援する環境整備の推進

子どもが健やかに成長することができるよう、地域ぐるみでの子育て支援体制の推進

様々な媒体を通じて情報発信を行い、移住・定住の促進する

UIターン新規就業支援、地域おこし協力隊の配置、ふるさと納税等活用した取り組み支援

地域において健康で安心・安全に生活を送ることができる環境整備の推進

施策・取り組み内容

農作業コントラクター支援/機関と連携した農業生産技術開発/スマート農業による省力化

中小企業・小規模企業振興基本計画及び経営発達支援計画による商工業の持続的な取り組み

UIターン新規就業支援/不足業種の充足の推進/関係人口の創出/サライトオフィス設置環境整備等

先端設備等導入計画・設備投資支援/研究機関との連携、6次産業化支援/訓子府高校インターシップ支援

特定不妊治療・不育症治療費助成/妊産婦健康診査/産後ケア事業/母親教室両親教室等

子ども医療費支援/子どもインフルエンザ・任意予防接種費用支援/紙おむつ費用支援等

一貫した質の高い幼児教育・保育/保護者ニーズに対応した保育サービス/ふるさとキャリア教育

結婚を望む者の希望を実現

空き家バンクを活用した移住・定住推進/2地域居住の推進/地域おこし協力隊の定住等

ふるさと納税の増額とふるさと応援団増員/地域経済の活性化/新規就業支援事業による就業・起業支援

地域包括支援ケアシステムの充実強化/障がい者の相談体制整備/障がい者の重度化等北見地域の拠点整備の推進

自主的な健康づくりに取り組む環境づくり/自主防災組織の設立/防犯カメラによる見守りの充実